



高松

たかまつ Vol.8

平成31年4月1日発行

発行：高松市コミュニティ協議会連合会・
高松市連合自治会連絡協議会・高松市

高松市コミュニティ協議会連合会は、 10周年を迎えました。



th Anniversary



連合会とともに

高松市コミュニティ協議会連合会
高松市連合自治会連絡協議会

会長 石田 雄士

高松市コミュニティ協議会連合会は、平成 30 年 10 月をもちまして、創立 10 周年を迎えることができました。これもひとえに、地域のまちづくりに関わるすべての皆様の御指導・御支援の賜物と感謝申しあげる次第です。

当連合会は、市内全地域でのコミュニティ協議会の設立を機に、連合組織として平成 20 年 10 月 17 日、それまでの高松市地域コミュニティ協議会連絡会から改組、改称し、発足いたしました。

以来今日まで、コミュニティ協議会相互の連帯感の醸成や自立と活性化に努めるとともに、市の自治基本条例に基づいた市民主体のまちづくりの推進に寄与することを目指して活動してまいりました。

各地域におきましても、コミュニティ協議会が中心になり、

地域みずからのまちづくりが推進され、着実に成果をあげておりますが、一方で、住民相互の連帯感や地域のつながりの希薄化が進み、地域が抱える問題は日々複雑化しております。

このため、地域全体を見渡し、多様な切り口で解決を図ることが、これまで以上に必要になってきていると実感しております。価値観の多様化した社会を見据え、関係機関・団体と連携しながら、現在の社会に合った地域コミュニティのあり方を模索することが、私どもまちづくりに携わる者に課せられた次の課題ではないかと考えております。

これからも、高松市コミュニティ協議会連合会は、住民の皆様が心豊かに暮らせる地域社会の実現に向けて心新たに地域のまちづくり活動を支援してまいりたいと存じます。皆様の旧に倍します御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

目次

- 10年のあゆみ・・・3
- 10周年記念事業・・・6
- 市長感謝状等贈呈式・・・8
- 地域トピックス・・・10
- 自治会加入促進作品・・・12

問合せ先：高松市コミュニティ協議会連合会
〒760-0017 高松市番町一丁目5番1号 四番丁スクエア1F
TEL.087-823-2703 FAX.087-823-2704
<http://www.takamatsu.genkki365.net/>



10周年おめでとうございます



高松市長 大西 秀人

高松市コミュニティ協議会連合会が設立10周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。

貴連合会の石田会長を始め、関係者の皆様方には、地域コミュニティ協議会への支援を通して、各地域の発展はもとより、本市が目指す地域みずからのまちづくりの実現に向けて、多大な御貢献・御尽力をいただいておりますこと、改めて深く敬意と感謝の意を表し、心から御礼申し上げます。

さて、本格的な人口減少社会の到来によりまして、地域社会を取り巻く環境は、年々厳しさを増しております。近年におきましては、住民相互の連帯感や地域のつながりの希薄化が懸念されている一方で、続発している災害や事故・事件などで尊い命が奪われるたびに、改めて「地域の絆」を培っていくことの大切さが再認識されているものと存じます。

本市におきましては、「コミュニティの再生」を最重要課題の一つと位置づけ、地域コミュニティ協議会を中心に、ソフト、ハードの両面で関連施策を展開し、真の「コミュニティを軸としたまちづくり」の推進に向け、鋭意、取り組んでいるところでございます。

貴連合会におかれましては、この度の記念すべき設立10周年を機に、この10年間で培われた経験を活かし、本市と地域を結ぶ重要な協働のパートナーとして、本市のまちづくりになご一層の御尽力・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、高松市コミュニティ協議会連合会の、今後のますますの御発展と、関係者の皆様方の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



高松市コミュニティ協議会連合会
高松市連合自治会連絡協議会
前会長 滝川 三郎

高松市コミュニティ協議会連合会の設立10周年、誠におめでとうございます。

連合会は、平成20年の発足以来、地域活性化のために、高松市と協働しながら各コミュニティ協議会の支援、地域と行政をつなぐ役割を担ってきました。

高松市のコミュニティが今日のように一定の成果を上げておりますのも、コミュニティ協議会の会長様はじめ、職員、関係の皆様方の御尽力の賜物であり、連合会が中間支援組織として、そのお手伝いがいささかなりともできたとしたら、関係していた者の一人として、この上ない喜びであります。

私が会長に就任しました平成23年は、未曾有の東日本大震災が発生し、多くの尊い人命が失われました。しかしながら、そのような状況の中でも、人と人とのつながりを大切に、地域の絆の再生のために邁進する人々の姿を目のあたりにし、地域コミュニティの重要性と可能性を強く感じたことを記憶いたしております。

この震災やその後頻発する自然災害等を契機に、顔の見える地域のつながりの重要性が再認識され、高松市においても地域住民みずからの手によって様々な地域活動が展開されるようになっております。けれども、その取り組みの主体であるコミュニティ協議会は地域住民や各種団体によるボランティア組織であることから、運営・活動を維持するためには様々なサポートが必要であります。

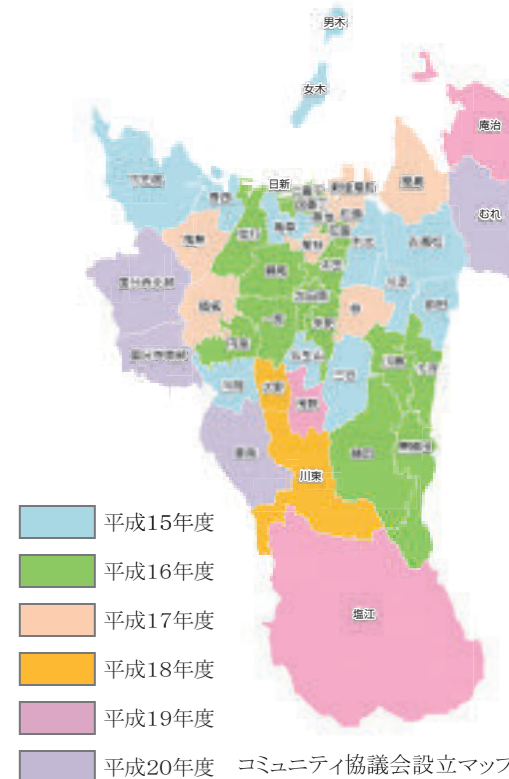
今後、連合会が地域からの期待に応え、住民主体のまちづくりの先導役として指導力を遺憾なく発揮されることを心から願うとともに、一人の市民として、できる限り支援してまいる所存でございます。

終わりにになりましたが、高松市コミュニティ協議会連合会の益々の御発展と関係各位の御健勝を御祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。



設立に至る経緯

- 平成14年9月 高松市連合自治会連絡協議会から「地域コミュニティ構築支援等に関する要望書」を市長、議長宛に提出
- 平成14年9月 要望書を受けて、高松市が地域コミュニティづくり推進本部を設置、コミュニティ支援策を検討
- 平成15年度 地域コミュニティ組織の構築開始
- 平成17年度 旧高松市内35地区での組織構築が完了
平成の合併で周辺6町が高松市となる
- 平成18年4月 旧高松市域の地区公民館がコミュニティセンターに転換され、コミュニティ活動の拠点施設として、各地域コミュニティ協議会が管理運営を始める
- 平成18年5月 地域コミュニティ協議会相互の連絡組織として、「高松市地域コミュニティ協議会連絡会」が発足
- 平成19年4月 指定管理者制度によるコミュニティセンターの管理運営を開始
- 平成19年6月 高松市地域コミュニティ協議会連絡会が、『「まちづくり」の進め方ハンドブック(活動推進編)』を発行
- 平成19年12月 各地域コミュニティ協議会の情報発信のためのホームページ「コミねっと高松」(高松市設置)運用開始
- 平成20年度 高松市内44地区全ての組織構築が完了
- 平成20年10月 高松市地域コミュニティ協議会連絡会から名称変更・組織強化が図られ、「高松市コミュニティ協議会連合会」が発足



高松市コミュニティ協議会連合会 とは

各地域コミュニティ協議会の連帯と協調の精神をはぐくみ、相互理解を通じて、地域コミュニティの発展及び高松市が目指す地域みずからのまちづくりに寄与することを目的とした団体で、高松市内の全 44 地域コミュニティ協議会で組織され、地域コミュニティ活動に係る情報収集、情報交換や調査・研究、また、功労者の顕彰等を自主的に行っています。



各種事業

- 部会活動
- 自治会加入促進事業
- 先進地視察研修事業
- 功労者の顕彰 等

研修会の実施

- HP「コミねっと高松」活用研修会
- 広報紙作成研修会
- 映像制作研修会
- 人材育成研修 等

研究班活動

- 情報ネットワーク研究班
- 業務改善研究班
- 組織力向上研究班
- コミュニティカルテ研究班 等

情報発信

- 広報紙「コミねっと高松」の発行
- 「コミねっとTV」の番組作成協力
- 地域イベント情報の集約・発信
- PRイベントの開催 等

地域コミュニティ協議会事務局の支援

- 労務・税務に関する研修・相談
- 給与事務に関する研修
- その他事務局運営に関する研修
- コミュニティプラン作成支援 等

地域コミュニティ協議会って？

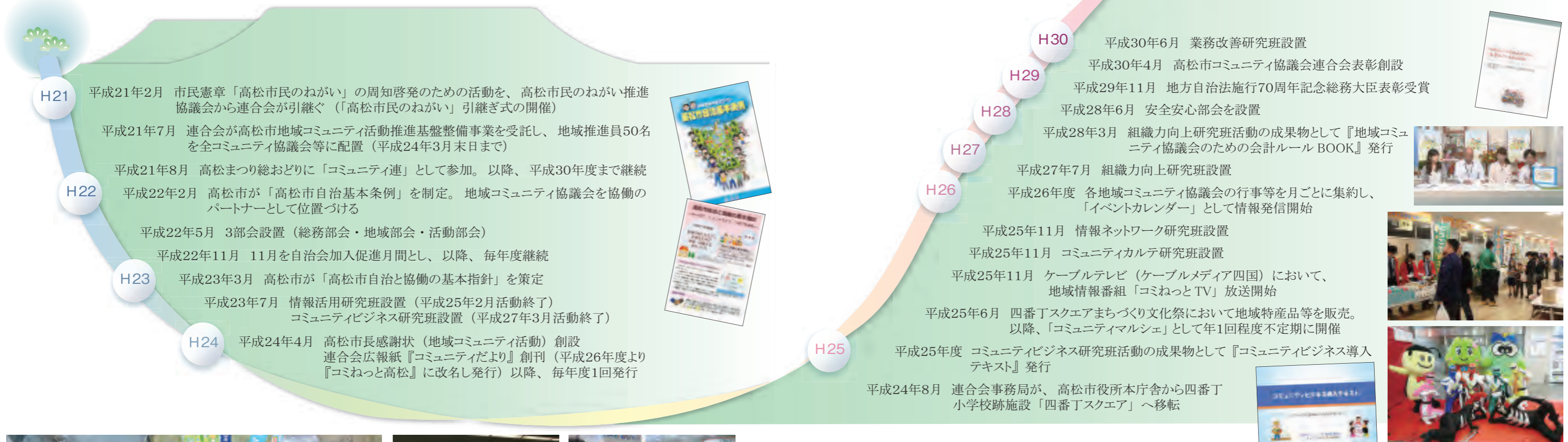


地域コミュニティ協議会は、おおむね小学校区ごとにつくられた住民自治組織です。



地域で暮らす人々や、活動をしている団体、またその地域へ通勤・通学をしている人々々がまちづくりの担い手となって、身近な人たちの間でつながっていきけるよう、様々な活動をしています。

設立後の連合会のあゆみ



高松市コミュニティ協議会連合会 地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰受賞

平成29年11月20日、天皇后両陛下御臨席の下、三権の長をはじめとする関係関係、歴代の自治・総務大臣、地方公共団体の長・議長、その他地方自治関係者等、約3600名の方々が列席し、地方自治法施行70周年記念式典が行われました。

この式典において、地方自治の伸展及び住民の福祉の増進に努めた者に対する地方自治功労者表彰が行われ、高松市コミュニティ協議会連合会は、都道府県及び市町村の行政に積極的に参画し、または、コミュニティづくりに熱心に取り組んでいる民間団体、住民自治組織等として、総理大臣表彰を受けました。

百十四銀行は創業140周年を迎えました

140年分の「ありがとう」を未来へ

百十四銀行 140

BARBAPAPA ©2019 Alice Taylor & Thomas Taylor ALL RIGHTS RESERVED

私たちが自治会加入の促進に協力しています

一般社団法人 香川宅建

〒760-0067 香川県高松市松福町1-10-5（香川県不動産会館内）
TEL 087-823-2500 FAX 087-823-1212
HP <http://www.takken-kagawa.com>

月刊不動産ニュースかがわ
情報満載！毎月15日発行

高松市コミュニティ協議会連合会10周年記念事業

平成31年2月16日、高松テルサにおいて、市内の各地域から、コミュニティ協議会及び自治会の関係者約450名の皆さんに御参加いただき、「高松市コミュニティ協議会連合会10周年記念事業」を開催しました。
帝塚山大学名誉教授の中川幾郎先生から、「平成のまちづくり、次代のまちづくり」と題した示唆に富む御講演をいただきました。また、パネルディスカッションでは、コミュニティ協議会の設立時から現在まで、それぞれの立場で密接に関わってこられた3名の方をパネリストに迎え、これまでの10年を振り返りながら、次の10年を見据え、今後のビジョンについて語り合いました。



10周年おめでとう！

コミュニティマルシェ

高松市内の各地域特産品を集めたコミュニティマルシェ。10周年記念事業の一つとして、会場横のホワイエで開催されました。
普段はそれぞれの地域でしか手に入らない名産品、オリジナルの商品や限定品を求めて、たくさんの方が賑わいました。

参加者の声

■顔の見える関係をつくることの大切さを再認識しました。
■これからの地域のリーダーの在り方がとても参考になりました。
■これからはいろんな団体のネットワークが大切であり、つながることで地域力を高めていけます。
(※アンケートより)

コーディネーター

丸山 輝裕 氏

かがわ地域連携センター 共同代表

（丸山）今後、コミュニティ協議会の中でNPOや商店街の人なども入って一緒に何か考えるような機会や勉強会ができれば、協議会がサポートする体制が広がる可能性も期待できる。

つながりが強まった10年間

Q これまでの10年で達成できたことや成果は？

（大野）地元東谷地区に伝わる農村歌舞伎の保存・伝承活動を通じて、地域の各種団体の連携が生まれ、またこの取り組みがユネスコの未来遺産に登録されたことで、地域の絆がさらに強まった。

（神田）栗林は元々住民活動が活発で、団体の連携もあつた。現在は6大事業を活動の柱として行っているが、すべて実行委員会形式を採用し、様々な団体や住民が参加し、企画から監査まで行っている。

（吉原）神社の秋まつりに地域の文化祭や子ども会秋まつりも組み合わせて、学校等の協力も得て賑わいづくりに成功したほか、各自治会の協力の下、登下校時の見守り応援隊が立ち上がった。

担い手を育てる活動を

また、地域住民が気軽に参画できる「つなぐカフェ」を開催し、新しい視点で子どもたちにもわかってもらえる太田南の第2次コミュニティプランができた。

（中川）10年前、高松は活力があるうちに自治会を中核に据えたまちづくりを進めた方がよいと思つたが、ほぼ順調に進んでいるのではないかと。イベントの力は偉大。特にまつりは地域コミュニティを再生させる装置であり、人々が集い認知される場所である。更に、イベントの経験が組織づくりや非常時の炊き出しの訓練にもなる。

新たな人、団体とさらなる連携を

Q 達成できていないことや課題だと思ふことは？

（大野）これまで先輩たちが行政とタッグを組んでグイグイと引張ってきたが、皆高齢化した。徐々に手放してはきているが、次代の人材の育成と引継ぎが大きな課題となっている。

（神田）コミュニティプランに挙げていた地元商店街や企業、NPO等との連携が進み始めているが、まだまだこれからだ。

（吉原）高齢化や役員任期の短期化、無関心な住民の増加などによって、自治会を始め組織の弱体化が進んでいる。一方で、業務過多により、コミュニティ協議会の事務局が活発にしている。

Q 今後、地域活動を活発にするために必要なことは？

（大野）共通課題（ビジョンを持つ・協議会運営のマニュアル化・業務改善）に対して、行政・連合会・地域が連携して対処する必要がある。

（神田）地域内の事業所で合同防災訓練を行ったり、栗林公園のおもてなしクリニックなど、観光客向け情報発信したりと、

（中川）NPOや企業人としての専門的なノウハウを持った人や団体にも関わってもらい、協力を得ることも活動の幅を広げるヒントである。

●危機感を可視化するためにビジョンを明確にする。同時に、協議会運営のノウハウを個人化させないためのマニュアル化を図ることは大事。

●リーダー養成はどこでも課題。地域活動に携わること、素敵な仲間が増える、尊敬できる人材に出会えるというよう魅力やどんどん伝えることが肝要。行政も地域リーダー育成のための仕組みを作るべき。

高松市の地域コミュニティ 10年の歩み、そして未来へ

パネルディスカッション

高松市の地域コミュニティ 10年の歩み、そして未来へ

コメンテーター

中川 幾郎 氏

1946年大阪府豊中市生まれ 帝塚山大学法学部、同大学院法政策研究科教授などを経て、現在、同大学名誉教授。これまで高松市自治基本条例策定委員会委員長、高松市自治と協働の基本指針策定委員会委員長を歴任

事務局機能の強化を

Q 達成できていないことや課題だと思ふことは？

（大野）これまで先輩たちが行政とタッグを組んでグイグイと引張ってきたが、皆高齢化した。徐々に手放してはきているが、次代の人材の育成と引継ぎが大きな課題となっている。

（神田）コミュニティプランに挙げていた地元商店街や企業、NPO等との連携が進み始めているが、まだまだこれからだ。

（吉原）これまで地区内の人だけで何とかしようとしていたが、今後ともなぐカフェを継続し、地区外の方にも参加いただき、新しい形の活動もしていきたい。また、事務局機能の強化のため、事務局作業の標準化を進めたい。

パネリスト

神田 育 氏

元 高松市自治と協働の基本指針策定委員、栗林コミュニティセンター長

企業や県外、海外の方巻き込んだ活動を徐々に進めていく。今後内外の団体や人たちがともにつながることで、もっと活動を広げていきたい。

基調講演 平成のまちづくり、次代のまちづくり

～地域自治のコト、ヒト、オカネを考える～

帝塚山大学 名誉教授 中川 幾郎 氏

近年、震災等を機に、都市、郡部双方の自治体で地域社会の再生が大きな動きになってきている。兵庫県朝来（あさこ）市の与布土（よふど）地区は、高齢化・過疎化への強い危機感から、総合的な地域経営ともいえる注目すべき取り組みをしている。4つの条件を兼ね揃えている人が地域リーダーになった。だが今は、この全てが揃う人はいない。我々はただ働いて稼ぐだけでなく、地域のために地域貢献できる人、実行できる人、といった本意の意味での市民とならなければならぬ。そして行政は住民を市民にするための政策が要る。コミュニティセンターは単なる生涯学習の場ではなく、公共精神をもった市民を育てる場所。他者と関わって協議したり、意思決定のルールや集団的自己決定能力の鍛錬と共有の場をなければならぬ。車に例えれば、自治会はコミュニティ協議会のエンジン。けれども、エンジンだけでは車は動かない。色々な部品が集まってこそ初めて動く。そして自治会が地域の土台を支えているからこそ、コミュニティ協議会が地域全体のことに注力できる。これからのまちづくりは、まず地域でできないこと、行政でできないことを振り分け、地域課題を考える。その次に、生活の全体性を考慮して戦略志向で考える。そして課題別、性別・世代別、地域別の3つの代表制を担保し、広く地域人材を集め、総合的に取り組んでいきたい。

JA香川県は自己改革に取り組んでいます。

農業と地域に 全力投球！

JA香川県

- 農業者の所得増大
- 農業生産の拡大
- 地域の活性化

詳しくはJA香川県ホームページをご覧ください

JA香川県 検索

《官公需適格組合証明組合》 高松市全域をエルピーガスでカバーする

香川エルピーガスクリーン協同組合

高松市と災害時におけるエルピーガス等の調達に関する協定書を結んでいます

●代表理事 三好 忠廣 ●専務理事 井上 正文

取扱業務：プロパンガス、各種ガス器具、ガス配管設備販売

事務所：〒760-0079 高松市松縄町1132番地17 TEL.087-865-0728 FAX.087-865-0748

Honda製 EU9iGP

市長感謝状及び高松市コミュニティ協議会連合会表彰状 高松市連合自治会連絡協議会表彰状贈呈式

平成31年2月16日(土)に、高松テルサにて、市長感謝状及び高松市コミュニティ協議会連合会表彰状・高松市連合自治会連絡協議会表彰状贈呈式を行いました。多年にわたり地域活動に携わり、その功績が顕著な方々に対して、市長感謝状等が贈呈されました。

平成30年度から、高松市コミュニティ協議会連合会表彰状が新たに創設されました。この顕彰が、地域活動に携わる方の励みになり、また、住民の方々が地域活動に目を向ける契機になることを期待するところです。

受賞されました皆様におかれましては、誠にありがとうございました。今後とも、地域のリーダーとしてさらなる御活躍を祈念申し上げます。



【地域コミュニティ活動】 市長感謝状 39名



- 松島 宮崎美佐子
- 花園 山下政勝
- 築地 久保正範
松村安雄
- 新塩屋町 角田朝則
森義文
- 二番丁 石田雄士
- 日新 泉忠孝
網谷伊都恵
- 栗林 早谷川悟
- 鶴尾 福池正信
- 木太 綾野和男
- 屋島 佐々木正隆
嶋谷恂子
谷口恒子
- 古高松 村井浩治
- 三谷 三谷渡
- 仏生山 平木あつ子
- 多肥 喜多敬三
藤澤武
- 一宮 森勝一
- 檀紙 坂本信孝
- 弦打 大西輝清
別枝義昭
- 鬼無 波多等
- 香西 松村孝
細川珠美
- 女木 西岡藤八
高橋利和
- 川島 十河敬二
- 十河 吉田静子
穴吹等
- 庵治 新上隆司
- 大野 二川幹生
中澤悦子
- 浅野 植松一夫
- 川東 岡田正義
- 香南 赤松千壽
- 国分寺南部 土井信幸

【自治会活動】 市長感謝状 50名



- 松島 佐藤義行(松福第一)
- 花園 赤松孝彰(多賀日の出)
南條保雄(花園親睦)
中山順子(上福岡中部)
松本一男(常磐本通り)
- 築地 望月佳代子(瓦町一丁目東部)
大井孝夫(古馬場北中町内会)
- 新塩屋町 木下弘生(鶴屋町南部)
- 二番丁 平野年紀(富士コーポ)
- 亀阜 森茂幸(西町本通)
藤澤繁美(宮脇町紫雲)
碓井和夫(中央町白梅)
渡辺修(労住協第21ビル)
- 栗林 佐々木健一(藤塚親和会)
川口武志(花ノ宮南部)
白木嘉彦(藤塚町マンション)
- 太田 高橋一成(三石)
村川昇二(松縄下所)
- 太田南 中澤健二(太田本町)
松本忠行(竹の鼻)
- 木太 柳進(札場第三)
本田勝義(高須東第二)
横山茂(高須西)
大熊博行(洲端南)
大須賀昭夫(木太コーポラス)
- 屋島 柏原道(浜北)
一色博行(公団)
- 川添 前田千歳(西原)
- 仏生山 山田尚武(上町一丁目)
辻本哲彦(出作一丁目)
雨嶋幸雄(原崎)
- 一宮 窪村昇(中筋東二部)
佐藤裕久(上三名)
- 川岡 武上勝彦(中筋南)
鎌野健二(高松寺南)
鎌野詳一(諏訪東)
- 東植田 旅田光巖(一丁目)
佐藤数一(田井上東)
福田正一(前屋敷東)
- 円座 木村靖(新道)
西村博(円座北団地)
- 弦打 藤村芳信(小坂)
朝倉博志(労住協)
- 鬼無 香川和章(藤井二部)
- 植田 佐々木博(大石)
- 塩江 川田為一(生山)
- 牟礼 藤貫元雄(サンハウス牟礼)
- 庵治 平井伸幸(江の浜)
- 大野 西分太郎(城団地)
- 国分寺北部 田井寿信(メゾンパールABC)

高松市 コミュニティ協議会 連合会表彰状 18名

- 亀阜 澁川正
- 栗林 松下保
- 鶴尾 植松邦浩
- 太田 高橋一成
藤川弘子
- 前田 伏見和恵
神内絹代
- 川添 植松勉
堀上英雄
上田桂子
- 仏生山 大西等
- 一宮 安田正彦
- 川岡 鎌野詳一
- 円座 新海千賀子
- 川島 佐野新
- 東植田 甲斐健太郎
- 塩江 熊野あや子
- 川東 真鍋隆幸
- 山上 正一(宮脇町南部桜ヶ丘)
厨子裕美(中野町西部)
和田洋志(天神前東部)
藤澤芳正(中新町ロータリー)
- 栗林 西村正和(室新町)
北川康裕(桜町第二)
- 鶴尾 町川邦彦(西ハゼ町)
岡賢一(御殿)
江藤俱子(市営すみれ団地)
田中波子(上天神西部)
山本昭夫(上天神丸東)
岡良一(東小山)
内藤小夜子(西春日団地西部)
多羽本廣一(中川原北)
- 太田 植田政治(立石銀座)
飯田廣勝(立石西部)
多田義則(上鹿腹第二)
矢野薫(南住宅)
林雪夫(立石北西部)
- 太田南 土田潤吉(県営住宅)
松本隆博(東分第一)
都築信行(東分東)
- 木太 植田泰三(西村第二)
- 屋島 松尾清文(浦生)
- 古高松 佐々木茂(西ノ丁)
植田仁(上原)
徳田英雄(南春日)
渡辺学(中谷西)
谷本義隆(東堀江)
吉田俊幸(西堀江)
竹内脩(新田北)
若松重樹(久米山)

高松市連合自治会 連絡協議会表彰状 149名

- 松島 宮本達雄(洲端西部)
- 花園 松下春市(観光南部)
森山忠(上福岡玉藻)
認谷隆義(上福岡南部西)
- 築地 木村誠三(塩屋町北部)
藤田宏行(福田町南部)
武本泰子(御坊町第一)
- 四番丁 山地進(内町東部)
脇義彦(亀井町南部田町西部)
- 二番丁 吉岡和生(錦町広場)
- 亀阜 金丸ひとみ(西宝町B団地)
横内幾生(宮脇町南部第一)
- 林 田中一司(中央団地)
西村千津(マリオン六条団地)
- 三溪 青木敏文(西三谷下)
三谷渡(山大寺上)
- 仏生山 上原光雄(新町二丁目)
竹野内義勝(本村中)
河田彰人(岡ノ下)
池上武志(光栄)
- 多肥 中岡道厚(横市)
大原まさ子(多肥上町北原)
- 一宮 熊野勝敏(仲島)
小野坂珠加子(原)
松村健二(成合北第二団地)
- 富田 康義(下市場)
林幸治(中筋西)
橋本幸恵(いずみ会)
幸禮隆(大所東)
岡剛(寺井東)
- 川岡 谷本保裕(下川部東)
橋谷秀之(大墓北)
武上文和(原湖東)
中條義一(諏訪西)
宮西正流(前屋敷西)
- 円座 宮治正尚(上本村西)
長町博(下本村西)
岡西孝文(西永井西団地)
鶴川真一(上本村北)
- 檀紙 香西信行(高橋)
河北和美(下薬王寺)
谷本好樹(西山)
谷本清美(井坪山神)
木村英哲(仁池)
- 弦打 泉田悟(半田)
高平正幸(警察官舎)
- 鬼無 久保友己(佐料五部)
小野充(佐料北部)
- 香西 地良田勉(明神町北)
横井末義(平賀北中部)
- 下笠居 地下文生(弾正原北)
溝内和典(生島北)
鶴川弘司(生島上)
南原明(弓弦羽西)
- 女木 北浦貞江(第三)
- 男木 城道龍二(第四)
- 川島 宮崎哲雄(横内)
森田優(宮尾北)
川田優(天神)
富田正利(横田)
池内隆(川島中)
白坂隆介(東大角団地)
大崎和男(乙井団地)
津田一夫(わかば)
島稔(川島セブン)
山西康弘(くるみ)
- 十河 木村清貴(藤の森西団地)
中原浩(ファミリータウン亀浦)
- 東植田 松浦豊(竹元)
- 植田 鎌野正範(大糸)
中井邦一(中土居)
川田英規(池田川)
- 安原 黒川和弘(上中徳)
- 塩江 熊野俊夫(小田)
森田麗子(温泉団地)
赤松操(下所西)
尾形隆範(菖蒲野)
- 上西 三野一(焼堂上)
松本榮千子(細井上)
藤澤江美子(小出川上の1)
植川ミナエ(真名屋敷)
- 牟礼 十河芳(シャトレハイツ)
三野正明(反熊)
栗本好正(南神)
平見道夫(つくしの団地)
- 庵治 川猛(王の下5)
竹本龍泉(竹居)
岩崎喜次郎(北村)
- 大野 佐藤昭二(南一本木)
西村誠宏(若草台)
- 川東 白川美清(立満ミサワホーム)
- 香南 中村博樹(タンポポタウン)
細井皓祺(丸岡原南)
濱賢治(クローバータウン)
長友大輔(つきみが丘)
辻正雄(新開)
- 国分寺北部 濱田隆(国分東団地)
山下修(ヴェルディタウン瑞岡)
湯浅勝文(西山東)
森啓二(瑞岡サニータウン)
詫間敏弘(常盤)
関東照彦(グリーンタウン国分寺3)
尾崎清(小万灯)
- 国分寺南部 小山直己(南新名団地)
十河道夫(下新名南第二)
田中顕二(楠井南第二団地)
福本進幸(本村中)
福家孝二(新名タウン)
岡田敬(中新名団地)
阿部文夫(川辺)
- 大下 健二(シアトル小村)



ちいきとびっくす 地域TOPICS

地域コミュニティの「つくる」活動をご紹介します



高年齢福祉・はなちゃん手伝いたい

花園地区

花園地区のスローガン「安全安心な住みよいまちづくり」を目指し、地域住民ボランティアによる花園地区地域福祉ネットワーク会議「はなちゃん手伝いたい」を結成しました。平成29年9月の開始から約1年間で「草抜き・ゴミ出し・買い物」の3つのお手伝いには、延べ150回の利用がありました。住民の助け合いから始まる手伝いだけに終わらず、見守り活動、そして交流の機会を作り、未来の地域を「創る」一端となることも重要だと考えています。

まずは「はなちゃん手伝いたい」
イクヨ ハナハナ
080-1994-8787にお電話を！



安全で安心して暮らせる松島づくり

松島地区では平成16年の高潮災害により、死者を伴う未曾有の被害に直面しました。このことを教訓に自主防災組織ではコミュニティプラン、地域コミュニティ継続計画に基づき防災訓練を行っています。自然災害に対する減災対策について検討し、避難体制の確立、可能な範囲での救助活動、防災機関への協力、地域住民の安否確認や避難支援、避難所運営や応急対策等をまとめました。総合防災訓練では、細かく役割分担を決め情報の共有・伝達等、災害時に迅速な対応が出来るよう心掛けています。「災害は必ずやって来る」を合言葉に「安全で安心して暮らせる松島づくり」を目指しています。



みんなの憩いの場所づくり

古高松コミュニティセンターは、コミュニティセンター第1号として平成18年8月10日に落成しました。建物は平屋建てで、地域住民の意見が反映された芝生のある円形広場や、開放型の図書室が整備されました。円形広場では、年3回程度「ふれあいひろば古高松」が開催され、フリーマーケットなどで賑わいます。また、夏には「親子教室」で子どもたちが簡易型プールで遊んだり、秋には「月見コンサート」が開催されるなど、地域住民の憩いの場所を演出し、文字どおり「出会いふれあい 古高松」を『つくって』います。



ウォーキングで健康づくり

鬼無地区では、「ウォーキングとラジオ体操で四国一周をめざそう!!そして健康寿命を延ばそう!!」をキャッチフレーズに、みんなで力を合わせて「健康チャレンジウォーキング」に取り組んでいます。個人でもグループでも自由な時間に取り組み、ラジオ体操とウォーキングを組み合わせているグループもあります。チェックカードは200m歩くごとに桃の絵を塗っていき、だれが一番に四国一周(860km)するかを競います。これからも地区の皆さんに、健康づくりのために気軽にできるウォーキングを、大いにエンジョイしていただきたいと思ひます。



「竹を何とかせないかん！」

竹は繁殖力が強く、「植田に広がる竹を何とかせないかん！」という思いで、植田校区では、高松市ゆめづくり推進事業の一環として、竹炭づくりを始めました。有志を募り、竹炭を立ち上げ、窯を手づくりし、竹の切り出しから竹割窯詰め・炭焼き・窯出しの作業をしています。また、竹炭を使った土壌改良地でのじゃがいも作りでは、子どもたちを巻き込んでワイワイとやっています。今までに30回焼き上げた竹炭は、消臭・防虫・水質浄化・土壌改良等に使用しています。この竹炭づくりが、植田校区の活性化の一助になればと頑張っています。



子どもたちのつながりを作る

浅野の子どもたちの遊び場といえば、自由に来館できる「浅野児童館」。赤ちゃんから高校生まで幅広い年齢の利用者で毎日賑わっています。また、7回目を迎えた「あさのこどもまつり」は、「作る・見る・体験する」内容盛りだくさんのおまつりで、年々来場者が増えています。子どもたちは遊びを通して、縦と横のつながりを作り、交流を深めています。その子どもたちのつながりが、未来の浅野のまちづくりにつながっていくよう取り組んでいます。



一人の力は小さいけれど
みんなの知恵と力が集まれば
自然災害にも負けない
強いコミュニティを
「つくる」ことができます！
さあ、始めましょう！

入賞 おめでとう

平成30年度 全国公民館報コンクール

優秀賞

太田南地区
コミュニティ協議会

公益社団法人全国公民館連合会が主催する「全国公民館報コンクール」において、太田南地区コミュニティ協議会が優秀賞を受賞されました。

地域情報の合言葉は

ケーブルテレビ

ホームページ

地域コミュニティ協議会の情報サイト「コミねっと高松」は、地域ならではの情報が満載！各地域の広報紙も充実しています。イベントカレンダーは必見です。

ケーブルメディア四国では地域密着情報をピカラ光でれびで提供しています

コミュニティチャンネルで
地域密着番組の放送

ピカラ光でれび

豊富なジャンル
選りすぐりの番組が見放題

データ放送で
地域イベントや
生活お役立ち情報を配信

ケーブルメディア四国 0120-08-1001

ケーブルメディア四国放送部

地域イベントやニュース情報など
随時募集中!!ぜひ、ご連絡ください。

頼りになります！地域のきずな 自治会

災害時など、「いざ」という時に、頼りになるのは身近なご近所さん

普段、生活しているときは、ご近所さんや自治会の大切さに気づかないかもしれませんが、大地震や豪雨などの災害が起こったり、子どもや高齢者を狙った犯罪が起きたり、もしもの時には、やっぱり近隣の支え合い、協力が必要だと思いませんか？

ごみステーションの管理
河川清掃



防災訓練
防犯パトロール
防犯灯



交通安全
子どもの見守り



高齢者の見守り



自治会とは、毎日住みよく暮らすために、地域の皆さんで作っているグループです。各小学校区には、およそ30～100の自治会があり、地域コミュニティの中心となって、日々助け合いながら活動しています。

平成30年度
自治会加入促進作品募集

入賞作品

将来のまちづくりの担い手である子どもたちに、地域や自治会活動への関心をもってもらうと、自治会加入促進作品を毎年募集しています。地域のつながりの大切さを感じられる感性豊かな作品が揃いました。

標語の部

自治会で
防犯防災
地域の輪

最優秀賞

木太南小学校 5年
長尾 妃涼

優秀賞

高松第一小学校 3年 黛 総悟
多肥小学校 4年 穴戸 葵
川島小学校 5年 田村英莉花
木太南小学校 3年 中原 和奏
川東小学校 5年 鎌田 紋妃

ポスターの部



最優秀賞

亀阜小学校 3年
松尾 優杜

優秀賞

亀阜小学校 6年 門田 美果
前田小学校 6年 湊 陸華
多肥小学校 3年 門田 京子

地域のホットステーション コミュニティセンター

開館時間

●平日・土曜…9:00～22:00

●日曜…9:00～17:00

●休館日

・国民の祝日に関する法律に規定する休日

・12月29日～翌年の1月3日

通称「コミセン」は、地域の人々や情報が集まり、誰でも気軽に立ち寄ることができる施設です。

地域活動の第一歩としてコミセンへ出かけましょう！



コミセン一覧

※市役所の総合センター・支所・出張所が併設している施設もあります。住民票や市税など行政機関の手続きは総合センター・支所・出張所までお問い合わせください。